

令和8年7月14日

愛知県知事
大村秀章様

一般社団法人愛知県訪問看護ステーション協議会
代表理事 森田貞子
要望書

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より地域医療・福祉の充実にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

愛知県訪問看護ステーション協議会では、関係諸機関と連携のもと、訪問看護の質向上、訪問看護事業の健全な発展を図り、愛知県民の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的として活動しております。現在、訪問看護事業所では、カスタマーハラスメントへの対応や、看護の質向上に向けたケアの評価が重要な課題となっています。つきましては、これらの課題への対応を進めるため、以下のご支援をお願い申し上げます。

1、カスタマーハラスメント対策に係る防犯機器等の補助

近年、訪問看護や介護、福祉の現場においても、利用者やその家族等からのハラスメントや暴言・暴力などの事例が増加傾向にあり、職員の安全確保が課題となっています。

昨年4月には、大阪市で訪問看護師への切り付け事件、本年6月には、埼玉県で利用者家族によるケアマネジャー刺殺事件も起きており、これらの事件は、職員の心身に深刻な影響を及ぼすだけでなく、離職等によりサービス提供の継続にも支障をきたす恐れがあります。

愛知県の訪問看護事業所では、職員が5人以下で運営している事業所が5割近くであり、職員は単独で利用者宅を訪れることがほとんどです。訪問看護師の安全確保として、厚生労働省からも位置検索機能・緊急呼び出し機能付き防犯ブザーや防犯ボタン付き携帯電話等の使用が推進されております。つきましては、愛知県に置かれましても職員の安全確保のため、防犯機器等の購入に対する補助制度の創設を検討していただきたく、ここに要望申し上げます。

2、看護の質向上のためにケアの評価に向けた携帯型超音波診断装置導入の補助

訪問看護では、常に医師がいないため、看護師が利用者の状態確認をして必要なケアにつなげていく必要があります。超音波診断は、「排尿（膀胱内の尿量）」「排便（腸管内の便貯留）」「褥瘡（床ずれの深部評価）」などの体内状況について訪問先でリアルタイムに可視化することが可能となり、ケアの評価の客観的指標となります。令和6年度改訂の看護学教育モデル・コア・カリキュラムでは、超音波診断が新たに位置づけられ、その重要性が増しています。しかしながら、超音波診断装置は1台あたり百万円を超える導入コストがかかります。厚生労働省からのロボット支援事業補助金を使っても、訪問看護ステーションの多くは小規模であり、経済的負担が大きい状況です。他の自治体では、独自に補助を行っているところもありますので、愛知県におかれましても携帯型超音波診断装置導入補助を検討していただきたく、ここに要望申し上げます。

令和8年7月14日

名古屋市長
広沢一郎様

一般社団法人愛知県訪問看護ステーション協議会
代表理事 森田貞子
要望書

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より地域医療・福祉の充実にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

愛知県訪問看護ステーション協議会では、関係諸機関と連携のもと、訪問看護の質向上、訪問看護事業の健全な発展を図り、愛知県民の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的として活動しております。現在、訪問看護事業所では、カスタマーハラスメントへの対応や、看護の質向上に向けたケアの評価が重要な課題となっています。つきましては、これらの課題への対応を進めるため、以下のご支援をお願い申し上げます。

1、カスタマーハラスメント対策に係る防犯機器等の補助

近年、訪問看護や介護、福祉の現場においても、利用者やその家族等からのハラスメントや暴言・暴力などの事例が増加傾向にあり、職員の安全確保が課題となっています。

昨年4月には、大阪市で訪問看護師への切り付け事件、本年6月には、埼玉県で利用者家族によるケアマネジャー刺殺事件も起きており、これらの事件は、職員の心身に深刻な影響を及ぼすだけでなく、離職等によりサービス提供の継続にも支障をきたす恐れがあります。

愛知県の訪問看護事業所では、職員が5人以下で運営している事業所が5割近くであり、職員は単独で利用者宅を訪れることがほとんどです。訪問看護師の安全確保として、厚生労働省からも位置検索機能・緊急呼び出し機能付き防犯ブザーや防犯ボタン付き携帯電話等の使用が推進されております。つきましては、愛知県に置かれましても職員の安全確保のため、防犯機器等の購入に対する補助制度の創設を検討していただきたく、ここに要望申し上げます。

2、看護の質向上のためにケアの評価に向けた携帯型超音波診断装置導入の補助

訪問看護では、常に医師がいないため、看護師が利用者の状態確認をして必要なケアにつなげていく必要があります。超音波診断は、「排尿（膀胱内の尿量）」「排便（腸管内の便貯留）」「褥瘡（床ずれの深部評価）」などの体内状況について訪問先でリアルタイムに可視化することが可能となり、ケアの評価の客観的指標となります。令和6年度改訂の看護学教育モデル・コア・カリキュラムでは、超音波診断が新たに位置づけられ、その重要性が増しています。しかしながら、超音波診断装置は1台あたり百万円を超える導入コストがかかります。厚生労働省からのロボット支援事業補助金を使っても、訪問看護ステーションの多くは小規模であり、経済的負担が大きい状況です。他の自治体では、独自に補助を行っているところもありますので、愛知県におかれましても携帯型超音波診断装置導入補助を検討していただきたく、ここに要望申し上げます。